



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター
（奈良県保健環境研究センター内）
Nara IDSC



● 今週の概要

■ 今週の感染症情報

■ 気になる話題 ～ノロウイルスの二次感染を防ぐために～



（調査週） 平成 23 年 第 48 週 11 月 28 日（月）～12 月 6 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	感染性胃腸炎	3.60	↑	↑	→～↑	↑↑
2	A 群溶連菌咽頭炎	1.43	→	↑	→	↓
3	水痘	0.86	→	↓	↑	→
4	手足口病	0.60	→～↓	→～↓	→～↓	↓
5	RS ウイルス感染症	0.54	→	→	→～↓	→

県北部地区概況 報告数は136例で、前週報告の129例からやや増加。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②A群溶連菌咽頭炎、③RSウイルス感染症、④手足口病、⑤水痘の順。感染性胃腸炎の報告数（60例）は、増加。A群溶連菌咽頭炎の報告数（28例）も、増加。手足口病の報告数（8例）も、増加。水痘の報告数（7例）は、減少。RSウイルス感染症の報告数（12例）は、やや減少。なお、インフルエンザ定点より、郡山HC管内から2週連続で1例の報告があった。郡山HC管内基幹定点から、マイコプラズマ肺炎が3例報告された。また、奈良市HC管内眼科定点からは、流行性角結膜炎の報告が1例あった。（村井 記）

県北部外来状況：外来患者数は予防接種や健診を除けば多くない。奈良市西部地区ではノロウイルスによる感染性胃腸炎の流行が始まっている。溶連菌咽頭炎が小児から成人まで流行している。咳が1-2週続き来院される方が小学生から成人まで目立つ。検査は行っていないがマイコプラズマかと思われるものもある。（矢追 記）

県中部地区概況 報告数は47週の117例から、48週は125例とやや増加した。上位の5疾患(47週→48週)は、①感染性胃腸炎(44例→51例)、②A群溶連菌咽頭炎(30例→20例)、③水痘(12例→16例)、④手足口病(8例→13例)、⑤咽頭結膜熱(7例→8例)の順であった。感染性胃腸炎はやや増加し1位、A群溶連菌咽頭炎は減少も2位に、水痘は増加し3位に、手足口病も増加し4位に、RSウイルス感染症は横ばいで7位となった。インフルエンザの報告が桜井HCより1例あった。眼科定点からは葛城HCより流行性角結膜炎1例の報告があった。基幹定点からは葛城HCよりマイコプラズマ肺炎2例の報告があった。(徳田 記)

県中部外来状況：外来数は予防接種を除き僅かに増加程度。感冒、高熱、咳の例が多い。数例の乳幼児でRS迅速陽性例、年長児で典型レントゲン像のマイコプラズマ例があり流行がある様子。感染性胃腸炎もあるが、嘔吐のノロウイルス様が少し、ロタウイルスはまだない。他にA群溶連菌感染症、伝染性紅斑、手足口病がまだ僅かずつある。(岡本 記)

県南部地区概況 報告数(第47週→第48週)は18例→29例と増加。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎(8例→15例)、②水痘(5例→7例)、③突発性発疹(1例→3例)、④RSウイルス感染症(0例→2例)、④A群溶連菌咽頭炎(1例→2例)であった。(柳生 記)

県南部外来状況：外来患者数は横這い。RSウイルス感染症が第48週で3週間ぶりに見られた。ノロウイルスが疑われる(ロタ、アデノ迅速陰性)感染性胃腸炎が保育所などで流行し始めた。在宅児でロタウイルス陽性例も散発的に1例あった。水痘、A群溶連菌咽頭炎がややあったが、流行性耳下腺炎その他は認めず。インフルエンザを疑う例はまだない。(山本 記)

【気になる話題 ～ノロウイルスの二次感染を防ぐために～】

今年 11 月下旬から、ノロウイルスによる施設内集団感染症や食中毒事例が相次いで報告されています。ノロウイルスは、患者の糞便や吐物から二次感染を起こします。ここでは、二次感染防止のための消毒方法についてご紹介いたします。

(重要) 消毒薬、ペーパータオル、ビニール袋等を準備し、マスク、手袋をつけること。

1、患者の糞便や嘔吐物

- ・処理を行う人以外は近づけない。
- ・ペーパータオルで外から内側に折り込むように拭き取り、ビニール袋に密閉、廃棄する。
- ・拭き取り後、残ったウイルスを不活化するため**塩素系消毒剤を充分散布**する。
- ・処理後は、窓を開けるなどして換気を充分行う。

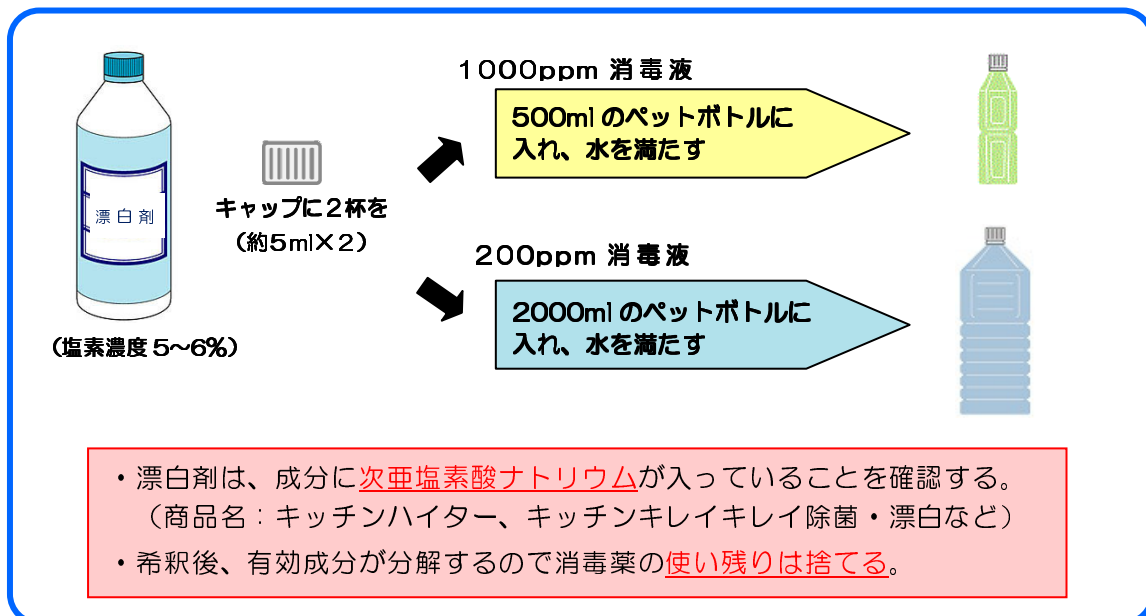
2、嘔吐物・便が付着した衣類・シーツ・タオルなど

- ・付着したものはビニールに密閉し廃棄する。
- ・廃棄しないものは **85℃、1 分以上の加熱**または **1000 ppm (0.1%) 塩素系消毒液に 30 分浸す**。

3、トイレの便座・ドアノブなど

- ・**200 ppm (0.02%) 塩素系消毒液**に浸したタオルで拭きとる。
- ・使用したタオルはビニール袋に密閉し廃棄する。

◆ノロウイルスに効く消毒薬の作り方◆



(参考) 厚生労働省「ノロウイルスに関する Q & A」

URL: <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

(感染症情報センター 記)